

## 平成 30 年度第 3 回埼玉県国民健康保険運営協議会 議事概要

- ・ 日 時 平成 31 年 2 月 1 日（金）午後 2 時～午後 2 時 45 分
- ・ 場 所 埼玉会館 6 B 会議室
- ・ 出席委員 11 名
  - 【被保険者代表委員】  
市村委員、柿沼委員、金子委員、堀江委員
  - 【保険医又は保険薬剤師代表委員】  
湯澤委員、小杉委員、膳亀委員
  - 【公益代表委員】  
伊藤委員、横山委員
  - 【被用者保険等保険者代表委員】  
桑島委員、柴田委員

### 1 議事（1）国民健康保険事業費納付金等の本算定について

#### <事務局>

- ・ 資料 1 により、国民健康保険事業費納付金等の本算定について説明

#### 【主な意見】

- ・ 表を見ると、県北が大体上がっているようであるが、この原因が何かわかるものがあるか。特に県北の場合、医療費が高いという感じを受けているがそれが問題なのか。
- ・ 医療費全体の中で、伸びとか特殊事情、インフルエンザなどがどのように反映されているのか。30 年度医療費が予想よりも伸びてしまうということになると、30 年度の追加や 31 年度の見込みについてももっと考慮してもよいのではないかと思うがどうか。
- ・ 支払基金からの高齢者の納付金が精算で見込みと大きく違うことがあると、市町村としても予算を立てにくく税率の検討にも影響がある。赤字削減・解消計画を立てて進めていても非常に厳しいと思う。
- ・ 納付金総額が前年度より少なくて済むとなった場合、予算とか保険税についてはどのように反映させているのか。直接影響があるのか。それとも、安定的に中期的に財政運営しようしているのか。
- ・ 去年保険税を下げたところが結構あったが、こういうことが続くと、下げた後に今度上げる必要が出てきたときに上げられなくなってしまう。市町村にもしっかりとした認識を持ってもらうよう、県からも是非よろしく願いたい。

### 2 議事（2）その他

#### <事務局>

- ・ 資料 2 により、今後の審議事項について説明

**【主な意見】**

- ・ 保険税率にばかり目が行っている赤字削減・解消計画が立てられるケースが多いが、まずは、収納率の向上そして医療費の適正化、薬剤の適正使用を進めた上で、足りない分について保険税率を上げるという方法が本来だと思っている。

保険税率ばかりクローズアップしている計画はいかがかなと思うので、県の方で指導していただけたらありがたい。